

テーマ：木更津に住んで良かった又は住んでみたいと思える「まち」づくりについて
(活力あるまちづくり、協働のまちづくり、安心・安全、定住促進、情報発信など)

暮らしやすいイメージの浸透

- ・木更津市の暮らしやすさとして、アピールするべき点は？
- ・木更津市の暮らしやすさを伝えるために、効果的な情報発信のあり方や働きかけるターゲットとは？

時代にあった地域づくり

- ・支えを必要とする高齢者が増える中、高齢者どうしの支え合いを促すために、自治会や防災組織、消防団など地域団体の果たせる役割と具体的対策とは？
- ・地域団体の担い手の高齢化にどのように対処すべきか？
- ・将来的にコミュニティを維持できなくなった場合の対応方策とは？

地域内連携の強化

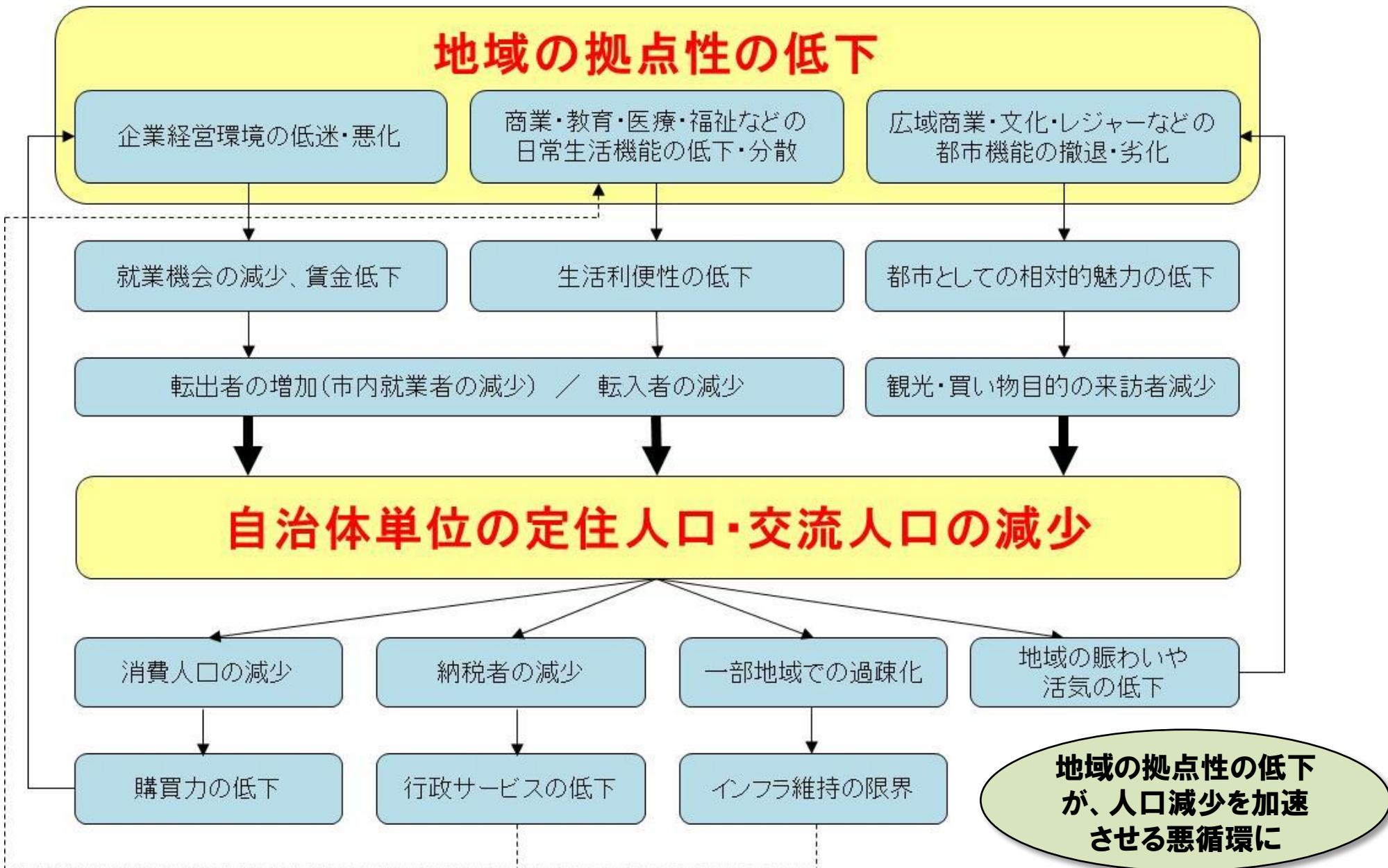
- ・暮らしやすさを維持・改善するため、住民や地元企業、商店街が交流・連携する機会を拡大するには？
- ・地域と教育機関の連携を促すためには？

都市のコンパクト化

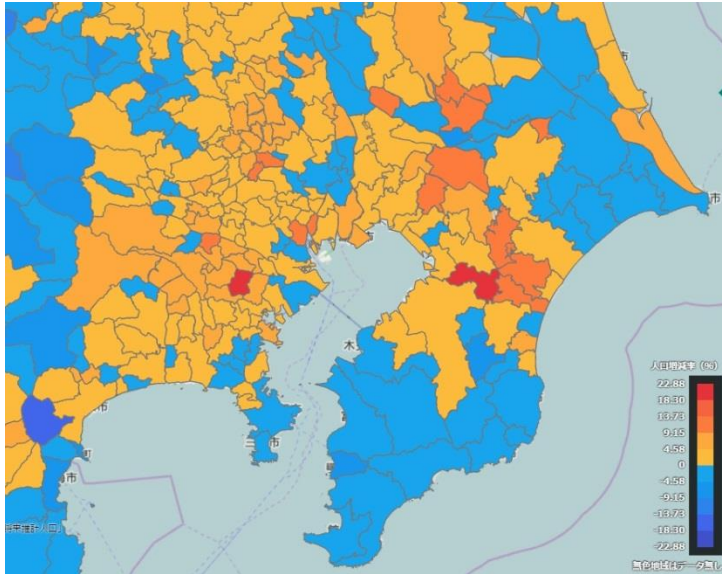
- ・人口減少を前提としたまちづくりのあり方とは？
- ・都市機能を過度に分散させず、安心・安全で、利便性の高いコンパクトな生活エリアを実現する“まちなか居住”の実現手段とは？
- ・自動車運転に支障が生じる高齢者の増加を見込む中、日常生活の移動を助ける交通基盤のあり方とは？

既存ストックのマネジメント強化

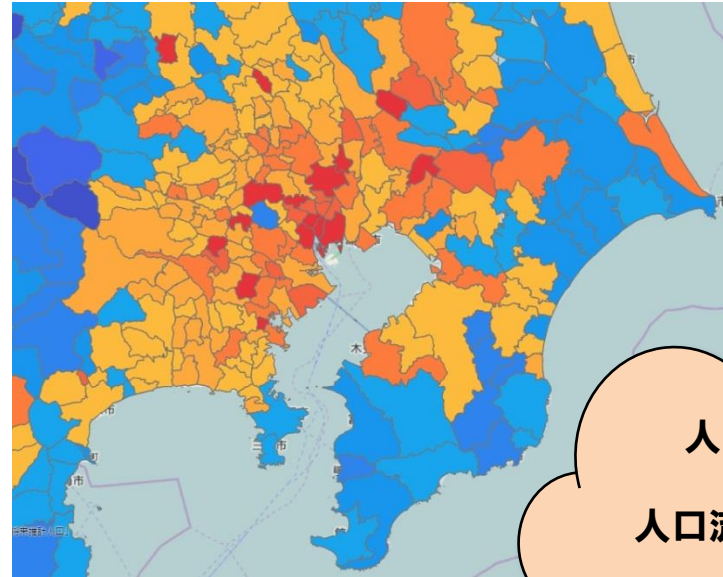
- ・空き家の安全管理や有効活用の方策とは？



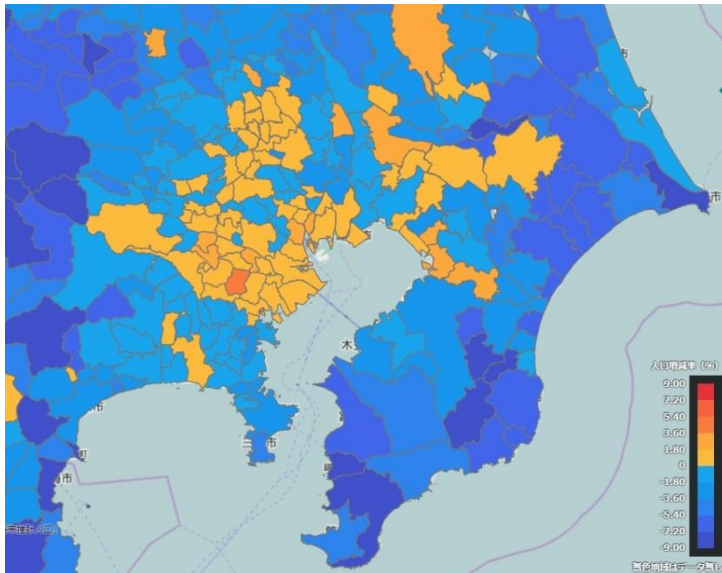
2000年実績



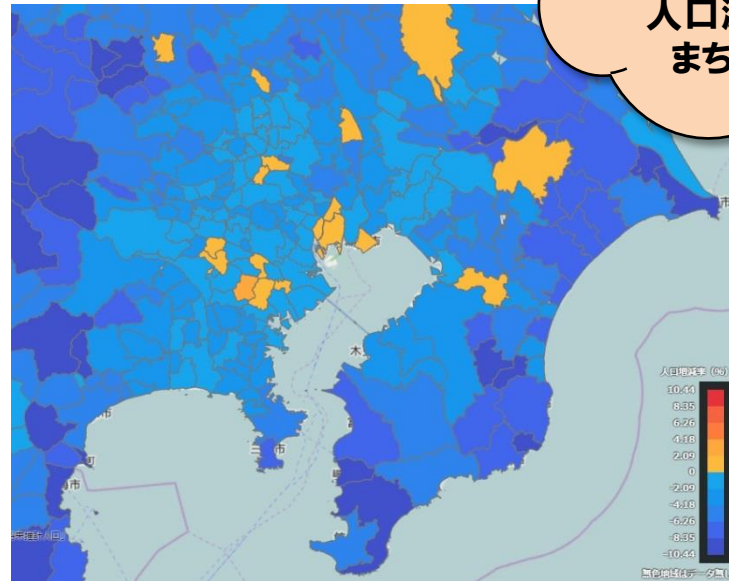
2010年実績



2020年推計



2030年推計



都内を含め
人口減少局面に
↓
人口流入政策だけでは
限界
↓
人口減少を前提とした
まちづくりが不可欠

出典：
国勢調査（実績）、
国立社会保障・人口問題研
究所「日本の地域別将来推
計人口」（推計）